

いきいき 行田人

埼玉ボウリングチャンピオン

遠藤 雅嵩さん (11歳・緑町)

まさたか

遠藤 雅嵩さん (11歳・緑町)

今月は第16回オール埼玉ジュニアボウリング競技会で、昨年に引き続き優勝し、2連覇を達成した遠藤雅嵩さんを紹介します。
小学2年生の時に、両親に連れられて市内のボウリング場に行き、初めてボウリングをした雅嵩さん。ストライクを取った時の気持ち良さからこのスポーツにすっかり夢中になってしまったそうです。競技としてボウリングに取り組んだのは、3年生の時。群馬県内のボウリング場でお父さんと遊んでいた雅嵩さんの目に、一枚のパンフレットが飛び込んできたことがきっかけでした。そこにはボウリング教室の案内が記載され、自ら「この教室に参加してみたい」とお父さんに相談。両親も快く承諾し、毎週このボウリング場に通うようになりました。



当時、雅嵩さんは地元サッカーチームにも所属していましたが、相手との接触プレーが苦手で試合中も一歩引いてしまうことが多かったそうです。「ミスをしてサッカーはチームメイトがフォローしてくれたので悔しい気持ちはあまりわかかなかったけど、ボウリングは自分の投球で出したスコアで勝敗が決まるので、思い通りの投球ができないとすごく悔しい気持ちになります」プレー中思い切り悔しがったり、喜んだりしている姿を見ていた父・明彦さんは「雅嵩の性格にはボウリングのほうが向いているのかもしれない」と思ったそうです。

現在、市外のボウリング場で火曜日から金曜日まで練習に励み、毎週月曜日にはリーグ戦にも参加している雅嵩さんは、大人たちとの真剣勝負も楽しんでいきます。「大人と対戦すると、レーンのコンディションによるボール選択や投げるコースを覚えてくれるので勉強になります。最近は投げていううちにレーンの変化も読めるようになってきました」と語る雅嵩さんは、大人にも勝利する時があるそうです。

そして、6月12日に行われたオール埼玉ジュニアボウリング大会。雅嵩さんは、自分が昨年のチャンピオンであることは特に意識せず、いつもどおり楽しんでプレーしようとして試合に臨みました。結果は6ゲームを投げ、1千125点で見事優勝を果たし、2連覇を達成。2位に89点差をつける圧勝でした。

ボウリングを始めてわずか3年で埼玉の頂点に立った雅嵩さん。次の目標を「8月8日・9日に愛知県で開催される全国大会で優勝することです」と力強く語ってくれました。

私の作品

俳句

忍 岡田 修

白妙の咽うひうひし瀧仰ぐ

門井町 宮田 淑尚

自分史を窓に残せしなめくじら

須加 飯塚よね子

人の世の危ない電話夏の月

下忍 関口八重子

拝謁にむかふ皇居の松の芯

荒木 高澤よね子

一村の庭浄土めく沙羅の花

佐間 藤田 久仁

更衣たんすにしまう手毬唄

佐間 須永 節子

水攻めのアート全き植田かな

富士見町 森 節子

青梅を拾うわらべの声高し

中里 鯨 美智子

夏さかり海あい色に日本海

向町 茂木 咲子

あじさいの小雨の蔭の色化粧

荒木 国島 初江

紫陽花の色あざやかに咲きにけり

白川戸 松本 忠之

菜園の初取り胡瓜香りも食べ

天満 青柳 欣吾

節電と云われ団扇を探し出し

城南 町田ツギ子

紫陽花の小路さんさく老夫婦

富士見町 本間千代子

夕虹や明日は何かが変わりそう

(木島 斗川 監修)



『お花のアップリケのバッグ』(パッチワーク)

藤間 洋子 (藤間)

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日まではがき・封書で広報広聴課へご応募ください。